

日露青年交流事業

2018年11月7日～15日

外務省、日露青年交流センターの[日露相撲交流]事業で、2018年11月7日～15日まで、日本相撲連盟から代表団、総勢32名がモスクワへ遠征しました。

日本相撲連盟代表団（団長・副団長・コーチ3名、男子大学生9名、男子高校生9名、女子選手9名）

ロシアは、選手の層も厚く、世界大会でのメダリストが多い強豪国です。モスクワ相撲連盟との交流は、選手達にとって大変貴重な体験となりました。スポーツ学校「Borets」での合同稽古、ロシア諸民族友好大学での公開稽古を通して、モスクワの学生と友好を深めたほか、モスクワ市内を視察し、ロシアの歴史や文化を学びました。日露相撲大会では熱い取組みが繰り広げられ、40対41で日本選手団が勝利しました。

